

★第23回 白石東地区マラソン大会

清々しい太陽のもと第23回 白石東地区マラソン大会が、6月29日〔日〕大谷地冒険公園を発着とした白石サイクリングロードコースで開催されました。

出場選手は、道職員住宅を含め10町内会より小学生男子が35名、小学生女子が8名、中学生以上・一般男女が8名、合わせて51名の選手が健脚を競いました。大会運営は、各町内会長を始め、体育スポーツ振興会役員、青少年



さあ、頑張るぞ

育成委員会、白石東部地区少年野球連盟、白石東地区交通安全実践会などの協力のもと実施されました。大会役員の主な役割は、サイクリングロードを使用するところから、自転車との接触のないよう、出場選手の安全確保等の為の走路員として参加していただいております。また、今年度も「こころのリカバリーセンター」よりAED〔自動体外式除細動器〕を借用し、健康面の安全を図る準備をし開催いたしました。



元気にスタートした小学生

★第26・27回 白石東地区グランドゴルフを楽しむ会

・夏空のもと、第26回 白石東地区グランドゴルフを楽しむ会が、7月12日〔土〕に白石南公園で開催され、9町内会より64名の参加でした。

3ラウンド24ホールで実施し、大会には80才代の方10名を数えておりました。高齢者パワーに押され気味であったなか、初めて入賞者全員が60才代という大会でした。芝の刈られたコースで和気藹々とプレーを楽しまれ、大いに交流が深められ、次大会への参加を約束している姿が見られました。閉会式には白石東地区センターの事業として白石東・東白石両連合町内会共催のグランドゴルフを楽しむ会の開催案内がありました。



入りますように!

・雲一つない秋空のもと、第27回 白石東地区グランドゴルフを楽しむ会が9月21日〔日〕に白石南公園で開催され、11町内会より56名の参加でした。白石土木センターにお願いをし、芝もすっかりかられ絶好の状態での開催でした。コースも少し楽なように設定したこともあり、ホールインワンが続出、コースのあちらこちらで歓声が上がっておりました。大会を通じ、アクシデントがありましたが、自らの体調を整え再チャレンジをと話す参加者もあり、無理のない、楽しみながらの健康づくりを今後も進めてまいりたいと思います。

★第23回 白石東地区少年野球大会

真夏の暑い太陽の日差しのもと、第23回白石東地区少年野球大会が8月2日〔土〕に白石東公園で開催されました。3チームによるリーグ戦で開催し、優勝は白樺自治会チーム、準優勝が栄通17丁目町内会チーム、第3位が大谷地



熱戦を戦った3チーム

第一町内会チームでした。対戦スコアは、大味な試合があり、シーソーゲームがあり、どの試合も熱戦でした。特に決勝戦は1点を争う熱戦で、3対1で白樺自治会チームが優勝しました。出場選手は、随所に好プレーを見せ、観客を興奮させる素晴らしいゲームでした。

なお、本年度予定しておりました少年野球新人戦は、チーム構成が出来ず中止と致します。

今後のスポーツ行事の日程は、11月23日 第42回 白石区民卓球大会〔広報さっぽろ参照〕、1月25日 第23回 白石東地区室内スポレク大会〔町内会回覧〕があります。大会の開催内容は回覧いたしますが、多くの皆さんの参加をお待ちしております。

取材担当：長井

取材スタッフ 嶋崎(まち協)・東海林(青少年育成委)・長井(体振)・市橋(まち協)

スタッフ募集中! お問い合わせ「白石東地区まちづくり協議会」

〒003-0026 札幌市白石区本通18丁目南2-6 白石東まちづくりセンター内 TEL: 011-862-0813



地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成17年8月より発行しています。

本紙は、白石東地区まちづくり協議会が編集局になって地区内を取材し、年3回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります!

サイクリングロード「吉田山西トンネル」北面にもタイルアート完成

白石東地区のサイクリングロードのモザイクタイルアート制作は今年で6年目、このモザイクタイルアートの取組みは、地域の多くの皆さんが利用されているサイクリングロードのトンネルを、自分たちの手でタイルアートを描くことにより、明るく夢のある空間に変えて、地域の魅力をさらに高めていこうと始めたものです。平成21、22年は、からまつトンネル(南郷通17丁目南)の壁面に、23、24年は、向ヶ丘通トンネル(南郷通16丁目南)の壁面に、昨年の25年は吉田山西トンネル(南郷通18丁目南)の南側壁面に、そして今年26年は吉田山西トンネル北側の壁面に新たな壁画「都市と自然・時間と空間～空飛ぶシーラカンス～」を完成させました。



真剣にテーマを考えるワークショップ

デザインや制作指導は、今年も江別市在住の彫刻家・原田ミドーさんが担当し、8月1日に行われたデザインワークショップでは、大谷地小学校の児童や地域のみなさんの意見をもとに、今年はこのタイルアートの制作が国際芸術祭の連携事業となることから、芸術祭のテーマである「都市と自然」を表現する作品にすることとしました。この難題のテーマに取り組んだ結果が今回の作品です。

今年がテーマが難しいことに加え、作品の制作にも大変苦労しました。壁画の大きさは高さ2.5m長さ21mで昨年と同じですが、壁画をより精密に仕上げるためタイルピースを細かくし、昨年の約30万枚から今年は約43万枚にその数を増加し、タイル小片の切り出しとその張り付け作業に取り組みました。



子どもから大人まで参加した制作

8月17日から制作を開始し、白石東地区の町内会の方々をはじめ、夏休みの子どもたち、大谷地小学校の児童も大勢参加し、小さい子どもから大人まで、昨年より100人も多い延べ約700人の方々の参加をいただきました。制作も後半に入り予定どおり完成できるか不安がありましたが、早朝から夜遅くまでみなさんが作品の完成に向け一体となって協力し合い、8月30日に無事に完成することができました。

制作に携わった皆様の努力と熱意に深く感謝とお礼を申し上げます。8月31日の完成式には制作に参加した子どもたちや地域のみなさんが完成を祝い、その喜びも格別でした。

是非、地域のみなさんの力作をご覧いただきたいと思います。今回のタイルアートも、平成22年から続く株式会社きののや様からの「さぼりとほっと基金」を通じた寄付によって制作しました。ご支援をいただき誠にありがとうございます。



完成式の日の子供たち



制作に熱心な大人たち

取材担当：市橋

都市と自然・時間と空間
～ 空飛ぶシーラカンス ～



みんなであそぼう！ at 白石南公園

今年の「みんなであそぼう at 白石南公園」は、雨天の為大谷地小学校の体育館で実施することになりました。「みんなであそぼう at 白石南公園」を開催するようになってから、今までは晴天に恵まれてきました。途中で降雨にあったことはありますが、今年も晴天に恵まれるだろうと南公園での実施を考えて準備を進めていました。ところが前日からの降雨で、回復は見込まれないとの判断で、大谷地小学校の体育館で実施することにしました。

8月5日の当日も朝から雨が降り続き、蒸し暑い日でしたが大谷地小学校のご協力を頂き、各町内会や団体のスタッフ、青少年育成委員、民生委員児童委員等々の方々から早朝から精力的に準備を進めて頂きました。例年通り参加募集のポスターは、札幌商工会議所附属専門学校の学生のご協力を頂きました。また当日も、札幌商工会議所附属専門学校の学生をはじめ道福祉大学校、東高校、白石高校、東白石中学校の学生・生徒がボランティア参加で協力してくれました。



スカットボール

体育館の為、水を使用する遊びは出来ませんが、わなげや玉入れ、スカットボールなど、大人も子ども一緒になってとても盛り上がっていました。老人クラブのスタッフから、けん玉を教えてもらっている真剣な子どもたちのまなざしは、とてもほほえましく思いました。ステージでは、双葉保育園の子どもたちのリズム体操に大きな拍手がわいていました。



けん玉やこま回しに挑戦

子どもたちを中心に、世代を超えて昔遊びやニュースポーツに取り組み、地域の交流を深めることは、とても素晴らしい事と思っています。子どもの笑顔は、いろいろな力を育てる基礎になります。子どもが笑顔になれば、つい私たちも笑顔になりパワーをもらいます。子どもたち一人ひとりが、笑顔で安心して暮らせる地域社会になるようこれからもこのような行事を続けていけたらと思います。



会場いっぱいに遊ぶ子供たち

取材担当：東海林

めざせ なでしこ 全日本大会で

白石東地区で生まれ育ち、スポーツ、芸能で活躍する方がおります。今回は、市立平和通小学校、柏丘中学校を卒業し、現在市立旭ヶ丘高校2年生在学中の「山崎優菜さん」、17歳の女子サッカー選手を紹介します。

小学生の時は、足が速く、将来は陸上選手への道へ進むのかなと思われていた逸材、その走力を生かしての女子サッカーでした。女子サッカー〔なでしこジャパン〕を夢見ながら、近隣で活動していた〔東白石あかつきサッカー女子クラブ〕に参加していました。高校進学では、サッカーで進むか、勉強と並行してのサッカーか、悩んだ末に後者を選択したものです。勉強しながら、会社で働きながらサッカーをしている社会人チーム「ノルディア北海道」があり、さっそく加入し、大好きなサッカーに打ち込んでいます。チームでは、フォワードとして11番をつけ、レギュラーとしてピッチに立ち、的確なボールコントロール、チャンスと見るや自らボールをはこび、ゴールへ一直線、輝く逸材です。

今年は、第9回北海道女子サッカーリーグ戦で優勝、その勢いを持って、先日札幌サッカーアミューズメントパークで開催された皇后杯全日本選手権道予選で見事に優勝。北海道代表として年末に開催される全日本選手権への出場が決定しました。憧れの「なでしこ」との対戦です。

夢ふくらむ女性の活躍を期待しております。

取材担当：長井



心のふれあい 見守り隊

「七夕のひととき」

「主催」 栄通り18丁目町内会

平成26年8月7日(木)、天候不安にもめげず、澁刺と準備に取り掛かる実行委員皆様のパワーで無事準備完了、祭り事「七夕のひととき」を「栄通しらかば公園」にて開催する事が出来ました。町内の企業団体、介護福祉事業所との共催、そして行政のご理解とご支援を頂いて、町内会と三位一体の型式で開催する事が出来ました。

白石区役所保健福祉部による講座「災害発生時の地域での支え合い」、それに加えて、白石区役所地域振興課による「各種災害時の避難方法図解」の拡大ポスター作成とパネル支援。札幌市防災協会による「各種災害時の避難に備えて」の講演にて、避難方法等を参加者皆様と学ぶ事が出来ました。



また普段区役所に行けない方々の為に、時代に即応した制度と活動内容を会場にて広めて頂きました。

3社の介護福祉事業所の皆様は、当日の緊急みんなでゲームを楽しみました 処置体制を始め、地域の皆様に判り易く事業所の活動や支援内容を説明頂きました。

白石南郷18郵便局長より健康増進を願い「太極拳」の披露を頂きました。縁日屋台、綿あめ、ヨーヨー釣り、ゲームコーナー等からは、笑顔や笑い声があふれていました。また、日本古来の伝統文化を継承する和太鼓「北海道盆踊り普及連合会」相談役の見事なバチさばきが更に会場を楽しく盛り上げ、想定外の盆踊りも飛び出しました。更に白石区の人気キャラ「しろっぴー」も応援に駆け付け会場は一段と盛り上がり、子供から大人まで多くの人々に楽しんで頂きました。



しろっぴーも参加

1人でも多くの方々に参加願ひ、来てほしくない「災害時の避難法」を共に学ぶ機会と企画した事が、今後継承され「地域住民の生命と財産を守る」道しるべとなる事を心から念願し、また新たな絆が生まれ地域の発展に繋がればと願うものです。



災害時の避難方法を学ぶ参加者たち

町内会発足以来、満40周年を迎えたいまは、生活環境面が素晴らしく整備され「安全で安心して暮らせる町内会」として、大変恵まれた栄通18丁目町内会と成りました。この事は、歴代会長始め、歴代役員皆様のご尽力の賜物と、改めて感謝する次第で有ります。

多発する昨今の各種大災害はもう、「対岸の火事」では有りません。「明日は我が身」と認識を新たにしなければと思います。行政推進による各種災害の避難方法の講演や実施訓練等の機会に1人でも多くの参加者を募り、「我が町内会から被災者を出さぬ」この事を今後の目標にしたいと考えております。

ご指導とご協力頂きました実行委員の皆様、関係者皆様に心から感謝と御礼を申し上げ結びと致します。

「共催」 医療法人徳洲会病院「徳洲苑しろいし」、小規模多機能ケアホーム「はまなす」、さくら・介護ステーション「ソニア」、「白石南郷18郵便局」

「協力」 コープさっぽろ「ルーシー店」、公益財団法人札幌市防災協会、白石区役所保健福祉部、白石区役所地域振興課、札幌市白石区第三地域包括支援センター、札幌市白石区介護予防センター本通

取材担当：市橋